



一期一会

- 1 -

<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh15/>

第44回入学式

新年度を迎えました。桜が満開の4月7日、165名の新入生を迎え入学式を挙行了いたしました。校長式辞、PTA会長様の祝辞、新入生代表誓いの言葉、在校生の代表による校歌紹介、吹奏楽部による歓迎演奏がありました。



新入生代表 誓いの言葉

満開の桜のもと、これから始まる中学校生活への期待に胸をふくらませながら、私たち44期生165名は、今日豊中市立第十五中学校に入学してきました。コロナの影響もある中、中学校生活をどのように過ごしていくのかドキドキしています。中学校生活は3年間。この時間を充実したものにしていきたいです。



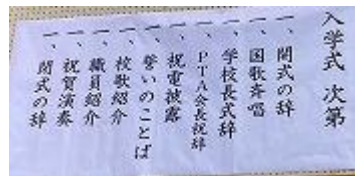
中学生になって楽しみなことが2つあります。1つ目は部活動です。私は吹奏楽部に入りたいと思っています。私は音楽は好きだけれど、合奏などはあまり経験がないので挑戦したいなと思ったからです。二つ目は行事です。たくさんある行事の中でも特に体育大会が楽しみです。中学校は人数も多い分、色々な人がいます。たくさんの個性を持った友達や先輩などとどんなことをするのか楽しみです。

その反面不安なこともあります。それは友達作りです。今まで仲良しだった友達とクラスが離れてしまうと、新しいクラスに馴染めるか不安です。ですが、まずあいさつから会話を始めてみたり、趣味が似ている子に話しかけてみたりして、少しずつ友達を増やしていきたいと思っています。

最後に私がどんな中学生になりたいかを発表します。私は部活と勉強の両立ができて中学校生活を楽しく過ごせる人になりたいです。勉強は小学校より難しくなるのでしっかり授業を聞いて予習復習を心がけたいです。これまでより忙しくなる中で、勉強がおろそかになってしまうことがないように、スキマ時間等でコツコツ頑張りたいと思います。大変かもしれないけれど、勉強に追い込まれず、楽しむ時は全力で楽しむ中学生になりたいです。コロナ禍ではありますが、私たちを支えてくださる皆さまへ感謝の気持ちを胸に、部活や勉強に精一杯取り組んで、44期生全員で中学校生活の3年間を有意義なものにしていくことをお約束し、誓いの言葉とさせていただきます。

校長式辞

正門横の桜が大変美しい今日、希望に輝いた表情の皆さんを、新入生として迎えられることを大変嬉しく思います。皆さんは本校の44期生となります。ご入学おめでとうございます。



中学校生活は、長い人生の中で、最も伸び盛りの、大切な時期です。新型コロナウイルスはまだしばらく続きそうですが、いろいろな活動にしっかり取り組み、本校を卒業する時に自分の成長が実感できるよう、頑張ってください。

そのために、私は皆さんに3つの「かく」を大切にしてほしいと思っています。

まず一つ目のかくは「字を書く」つまり「学び」ということです。科学技術の発展、感染症の発生、戦争や環境問題など、良い意味でも悪い意味でも世の中の流れが速く、先が予想しにくい時代となりました。皆さんが大人になるころには今ある職業の半分くらいは別の仕事になっているだろうと言われています。そんな時代に特に必要とされる力は、「自分の頭で考える力、考えたことを表現する力、人とコミュニケーションする力」です。十五中では、毎時間の教科の学習の中でも、できるだけ「1人学びの時間」「ペアワークの時間」「全体で共有する時間」を取り、皆さんのそれらの力を伸ばそうと先生たちは考えて授業をしています。十五中の各教室には「あたたかな聴き方、優しい話し方」という大きな紙があってあります。教室では間違った時でも馬鹿にされない温かい雰囲気を皆さん自身の手で作ってください。クラスにはいろいろな人がいます。勉強が得意な人、苦手な人、運動の得意な人、苦手な人。障害や病気のある人、健康そのものの人。音楽の好きな人。絵をかくのが得意な人。いろいろな個性が否定されることなく交じり合う面白いクラスを作してほしいと思います。

二つ目のかくは「汗をかく」です。運動などで汗をかく。生徒会活動で汗をかく。汗をかくには異なる意味がありますね。成長期の中学生にとって適度に身体を動かすことは大切です。最近ゲームばかりで外で遊ばない人が増えており、とても心配しています。体育の授業や部活動で汗をかくことで体力がつきます。本校の部活動は運動部、文化部合わせて16ありますが、部活動で自分の可能性に挑戦することで精神的にも大きく成長した先輩たちがたくさんいます。

汗をかくのもう一つの意味は、人のために動く、ということです。子どもから大人への成長のひとつの証は「自分が何かをしてもらうことが嬉しい」から「誰かのために何かをしてあげることが嬉しい」という気持ちが芽生えることです。いま皆さんは中学生となり、大人への階段の第一歩を踏み出しました。自分にどんな力をつけ、それを人のためにどう役立てていくか。人のために汗をかく経験は自分を高めることにもなります。社会のために自分の力を役立てたい、それを「志」といいます。本校ではキャリア教育にも取り組んでおり、3月に卒業した先輩たちはそれぞれの志を胸に巣立っていきました。皆さんもこの3年間でぜひそんな気持ちを自分の中に育ててください。

(裏面につづきます)

三つの目のかくは「恥をかく」です。これは知り合いの保育士さんから聞いた話です。ひとりの3歳の子に「まるを書いてごらん」というと「書けない、だってきれいに書けないと恥ずかしいし叱られるから」と言ったそうです。失敗を恐れなくてください。新しい挑戦に臆病にならないでください。自分で考え、行動する経験の積み重ねが自立の力につながります。中学生のうちはたくさんチャレンジして失敗して、反省したあとは失敗を笑い飛ばせるようなたくましさを身に着けてほしい、と願っています。先ほども言いましたが学校は間違えてもよい場所なのです。

また、今日から新しい友達との出会いがあります。人との出会いに対しても恥ずかしがらず怖がらず、まず自分の心を開くことで一生深く付き合えるかけがえのない友人とのつながりが生まれると思います。

(中略)

皆さんの一人ひとりを、先生方はもちろん先輩たちも含め、みんなで、全力で応援していきます。以上、皆さんの中学校生活が充実したものになることを願って式辞といたします。

PTA 会長 祝辞

桜の花びらが新しい門出を祝う春がやってきました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、新しい制服に身を包み、校門をくぐったお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆さん、今日さっそくクラス分けがありました。新しい友達との出会いは緊張しますよね。そのクラスの人と出会えたことは、実はものすごい奇跡なのです。今のこの地球上にはおよそ70億人の人が暮らしています。仮に1クラス35人として、70億人の人々の中で同じクラスになれる確率は2億分の1ということになります。2億と言っても想像がつきにくいですが、もしも1から2億まで口に出して数えると、どれくらい時間がかかるかわかりますか？1つの数字を言うのに1秒だとしても2億まで数えるには7年近くかかります。

つまり2億分の1というのはそれくらい奇跡的な数字なのです。その奇跡の確率で同じクラスになった友達との出会いをぜひ大切にして、お互いに認め合い、支え合い、ともに成長できる関係を築いて、充実した中学校生活を送ってください。またコロナ禍でマスク生活が続きますが、マスクの下は笑顔でいてください。

さて保護者の皆さま、子ども達がよりよい中学校生活を送るためには、学校、保護者、地域の皆さんとの協力が不可欠です。その連携役でもあるのがPTAです。ぜひ子どもたちのために、PTA活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆さま、新たにこの第十五中の一員となった子どもたちを、愛情をもって見守り、ご指導いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

皆さんの中学生生活が実り多きものとなることを願い、私の挨拶とさせていただきます。本日はご入学、まことにおめでとうございます。



皆さんそれぞれの思いのこもった言葉をいただき、入学式の会場は温かい空気に包まれました。

その後、3年生有志による校歌紹介、吹奏楽部の歓迎演奏と素敵な音楽が続き、緊張した新入生の表情も少し和らぎました。

